



英語処理速度を 劇的に伸ばす秘訣

ASA English Coach



英語コーチ・発音矯正トレーナー

朝井ともか

1. 英語処理速度とは？

本書を手にとってくださった方のなかには、「英語処理速度」と言われてもピンとこない方もきっと多くいらっしゃるのではないかと思います。

そこで、一つ質問してみましょう。

皆さんは、英語をリスニングするときに、その英語が「速すぎて聞こえない」と感じることはないですか？

あるいは、TOEIC の試験を受けたとき、英語を読むスピードが遅くて最後まで解き終わらなかった、ということはないですか？

英語を聞いたり読んだりする時の処理スピード。

それを、WPM (words per minutes) であらわすことができます。

WPM とは、「1 分間で何単語読む (聞く) ことができるか」の指標です。

仮に、あなたの英語を聞くときの WPM が 100 だった場合、100WPM で話してくれれば聞き取れるけれど、150WPM で話されると、速すぎて何を言っているかわからない、ということになるでしょう。

また、仮にあなたの英語を読むときの WPM が 100WPM だった場合、TOEIC で全文しっかり読んだうえで最後まで解き終わるのは難しいでしょう。(TOEIC リーディングパートを最後まで解き終わるのに必要な WPM は 150~180WPM と言われています。)

従って、あなたが読んだり聞いたりする英語の処理速度に少し問題を感じている場合は、今の自分自身の読み聞きの WPM がどのくらいで、実際に必要な WPM がどのくらいなのかを把握することが、大事になってきます。

一方、多くの方は、自分の読み聞きの WPM がどのくらいなのか、ご存じないのではないのでしょうか？

本書は、そのような多くの皆様のために、あなたの英語処理スピードを測定する方法と、あ

あなたが必要な英語処理スピードの見つけ方をお伝えし、ぜひ数値化した目標を用いて、英語処理速度をどんどん上げて行ってほしいとの願いから執筆いたしました。

2. リスニング・リーディングにおける英語処理速度の測定方法とは？

まず、リスニングとリーディングのそれぞれの処理速度の測定方法についてお伝えします。

リーディングの英語処理速度 (WPM) : 「黙読」の WPM (1 分間に何単語黙読できるか)

リスニングの英語処理速度 (WPM) : 「音読」の WPM (1 分間に何単語音読できるか)

リーディングの処理速度が、黙読の際に何単語読めるか、というのはわかりやすいと思います。

一方、リスニングの処理速度が、音読の際に何単語読めるか、というのは意外な方もいらっしゃるでしょう。

基本的に、言える言葉 = 聞ける言葉、とされています。

なので、「聞ける文字数」 = 「言える (音読できる) 文字数」でカウントが可能です。

ちなみに、このようにお伝えすると、意味を無視してスピードだけ速く読む人がいますが、これは NG です。

どれだけ速く読めても、意味が理解できていなかったら意味がないですよ？

なので、測定時の目安としては、

「意味が 7 割程度理解できる最速スピード」で測定してください。

では、早速、次の項目ではあなたの WPM を測定してみましょう！

3. あなたの WPM を測定しよう！

早速、あなたの「音読」の際の WPM = リスニングの際の WPM を測定してみましょう。

以下の英文を、「意味が 7 割理解できる最速のスピードで」音読してみてください。

その際、何秒かかったかわかるように、必ず時間を測定してくださいね！

※下記英文は、スティーブ・ジョブズ氏がスタンフォード大学卒業式で行ったスピーチより抜粋しています。

It started before I was born. My biological mother was a young, unwed graduate student, and she decided to put me up for adoption. She felt very strongly that I should be adopted by college graduates, so everything was all set for me to be adopted at birth by a lawyer and his wife. Except that when I popped out they decided at the last minute that they really wanted a girl. So my parents, who were on a waiting list, got a call in the middle of the night asking: "We got an unexpected baby boy; do you want him?" They said: "Of course."

(105 words)

あなたは上記の文章を何秒で音読できたでしょうか？

続いて、今測定した秒数を使って、WPM を算出しましょう。

計算式は、以下の通りです。

文章の単語数 (105words) ÷ 読むのにかった秒数 × 60

例えば、30 秒で読んだ人の場合、

$105 \div 30 \times 60 = 210$ WPM、となります。

これで、あなたの WPM が算出できました。

ちなみに、ジョブズ氏のスピーチでは、37 秒で上記パートを読んでいます。

従いまして、ジョブズ氏のスピーチの WPM は、
 $105 \div 37 \times 60 = 170\text{WPM}$ となります。

もしあなたの WPM が 170WPM 以上なら、ジョブズ氏のスピーチは、音が聞き取れて単語の意味がわかれば、恐らくすんなりと理解できるでしょう。

一方、もしあなたの WPM が 170WPM 未満の場合、ジョブズ氏のスピーチは、音が聞き取れて単語の意味がわかって、話すスピードに英語の処理スピードが追い付かない可能性が高いです。

よろしければ、ぜひ下記リンクより実際のスピーチにアクセスしてご確認くださいね。
上記のスピーチパートは、1分11秒~です。

<https://www.youtube.com/watch?v=UF8uR6Z6KLc>

4. あなたが必要な英語処理スピードはどれくらい？

さて、英語処理速度を測定したことで、あなたの英語処理速度の現在地はわかりました。
続いて、「あなたの英語の目的地」を設定しましょう。

あなたが聞きたいのは、どのくらいの速度の英語でしょうか？

映画やドラマくらい？

TED のスピーチくらい？

CNN くらい？

TOEIC のリスニングパートくらい？

あなたが聞きたい英語によって、リスニングの WPM の目標値が決まります。

もし、スクリプトがあるようでしたら、前項でお伝えした計算式を用いて、実際に必要な WPM を計算してみるのがよいでしょう。

なお、計算が大変だという方のために、参考までにいくつかの WPM を掲載しておきますね。

英検 2 級リスニングパート	140WPM
TOEIC リスニングパート	150~160WPM
TED Talks	100~200WPM (平均 155WPM)
ネイティブの一般的な会話	160~200WPM
CNN	180~200WPM
競売・オークション	250WPM

いかがでしょうか？

多くの方は、だいたい 150~200WPM の間くらいが目指すレベルなのではないでしょうか。

ストレスなく英語リスニングができるには、まずはそのレベルの処理速度を身に付けていく必要があるのです。上記の数字をしっかりと意識していきましょう。

5. 英語処理スピードを劇的に UP させる秘訣！

さて、ここまでの項目で、あなたは、現在の自分の WPM と目標となる WPM について見えてきたことと思います。

続いて必要になるのは、どうやってそのギャップを埋めるか、ということです。

その方法を、本稿ではお伝えします。

(1) 速度 (WPM) を意識してトレーニングする

基本的には、目標とする速度 (WPM) を意識して、その速度で理解しながら音読することができるようになれば、その速度で英語が聞けるようになります。

英語教育でよくある「シャドーイング」が効果的なのは、このためです。

即ち、英語が話されるそのスピードで、しっかりついて声に出すことができるようにするトレーニングだからこそ、そのスピードでリスニングができるようになるのです。

シャドーイングでなくても、リピーティングでも音読でも何でもよいので、聞きたい音声と全く同じスピードで声に出し、意味がしっかりつかめるという状態を作りましょう。

これが、リスニング力向上の基本になります。

なお、このようなリスニングトレーニングを行う際は、特定の英文を何十回もやりこむのが基本です。

例えるなら、楽器を学ぶ感覚です。

楽器は、1 曲を 1 カ月くらいかけて仕上げていくと思います。

シャドーイングやリピーティング・音読も、最低でも 1 週間、場合によっては 1 カ月くらいかけて、何十回も声に出すトレーニングをやりこみましょう。

さらに、具体的な数値目標を設定し、定期的に速度測定しましょう。

例えば、「一週間で 10WPM 上げる！」というような目標を立てて、毎週測定します。

速度は、意識するだけでも速くなるものなので、ぜひ試してみてくださいね。

その際、ウェブ上にスクリプトがある教材なら、ワードにコピーして文字カウントすれば、簡単に WPM を計算することができます。

なお、何度もやりこんだ後に、最後の仕上げとして、自分が声に出せる MAX 速いスピードで音読してみましょう。場合によってはお手本音声より速くなるかもしれません。

そのような速いスピードで音読し理解できる状態を作ることで、実際の音声に余裕を持って聞けるようになります。

よく、TOEIC 試験前に、リスニングパートの音源を速めのスピードで聞いておくとよい、と言われることがありますが、それも同じ原理によるものです。

(2) 頭からカタマリごとに意味を理解する

日本人の場合は、英語を読むときにも日本語の語順で頭を使い、返り読みをして長文読解をされる方が多くいらっしゃいます。

この影響で、リスニングの時にも、頭から順番に意味を理解していないことがあります。

このような返り読みを防ぎ、頭からカタマリ毎に意味を理解していくには、「スラッシュリーディング」という方法が有効です。

スラッシュリーディングでは、前置詞や接続詞・関係詞の前など、意味の切れ目の前でスラッシュを引くことで、スラッシュを引いたところの意味をカタマリで理解できます。一文字ずつ処理するよりも、カタマリで処理することで、処理速度が速くなります。

受験の際にスラッシュリーディングを学習に取り入れた人も多いことと思いますが、英語処理速度向上においても有効なので、カタマリ毎に意味を理解する感覚をつかむためにも、スラッシュを引いてから音読することは、ぜひ取り入れてみてくださいね。

いかがでしたか？

目標はできるだけ具体的な数値化したほうがいいと言われます。

それでも、英語学習においては、TOEIC のスコアのような資格試験以外では、まだまだ目標は数値化されていないことが多いと思います。

本稿をお読みいただいた皆様には、ぜひ今回お伝えした「WPM」という数値目標を使って、英語処理スピードを戦略的に伸ばしていただければと思います。

先にお伝えした通り、数値を意識するだけでも全然違いますので・・・。

本稿をお読みになった皆様が、英語処理スピードが上がって、英語をストレスなくスムーズに理解できるようになり、それぞれの目標を達成されることを願っています。

英語コーチ・発音矯正トレーナー 朝井ともか